

ネットに潜む危険から 子どもを守るのは“親”です！

インターネットと各種情報機器の普及は、トラブルだけでなく、お子さんの健全な成長に様々な影響を与えています。ネットいじめやネット依存症等は、もはや他人事ではなく、私たちの身近なところでも起こっています。お子さんを守るのは親の責任です。大切なお子さんのために、もう一度考えてみませんか。

石川県では

小中学生に**携帯電話等を持たせない**ことを基本としています。（いしかわ子ども総合条例32条）

携帯電話等は、本来、社会的な力が身についてから持たせるべきです。子ども達はまだ成長途中です。

**だから、親が子どもにルールを教えて、
守らせなければなりません**

広陽

～広陽の子ども達はこの約束を守ります～

ネットの10のやくそく

- ①携帯やスマホは親のもので、子どもに貸したものです
- ②自分や友達の写真や動画をネット上にアップしない
- ③個人情報を書きこまない（名前・住所・電話番号等）
- ④悪口やうわさを書きこまない
- ⑤夜9時以降は親にあずけ、使わない
- ⑥自分の部屋に持ちこまない
- ⑦親が通話やメール等の内容を確認できるようにする
- ⑧フィルタリングをかけ、はずさない
- ⑨ルールを守らなかったら貸してもらえない
- ⑩子どもがしたことはすべて親の責任です

上記をふまえ、各家庭で話し合ってルールをつくってください。 広陽小学校PTA 広陽小学校

無料だからいいの？

楽しいからいいの？

ネットに潜む危険



ネット依存

友達とのやりとりに時間を取られたり、オンラインゲームを何時間もしていたり、何気なく動画を見続けたりしていると、**スマホを手放せなくなります。**

ゲーム会社や動画の投稿者はいかに飽きさせないかを考えています。**やめたい時にやめられなくなったら、ネット依存症**になりかかっています。

健康への影響

ネットに依存すれば、早寝・早起・朝ご飯のリズムが崩れていきます。それは、**意欲の低下、体調不良**などを引き起こし、**頭痛や肩こり、視力低下**、さらに、**睡眠障害や抑うつ症状**にまで至ることもあります。子ども達の心身の健全な成長にとって、今が最も大切な時です。

学力低下

スマホの利用時間が長くなればなるほど、学習時間はもちろん短くなります。さらに、家庭でしっかり勉強する人がスマホを長時間使ってしまうと、家庭で全く勉強しないけれどスマホを使っている人よりも点数が低くなるという調査結果があります。日中に習った**学習の内容が脳の中に残らない**ことにつながるようです。

ネットいじめ

LINEやミックスチャンネル等のSNSへの誹謗中傷の書き込みや写真の投稿、グループを使った仲間外れによるいじめがあります。

被害が拡大しやすく、**精神的被害は甚大**になります。不登校、転校、果ては自殺にまで至ってしまうこともあります。

個人情報流出

ネット上に出てしまった情報を完全に消すことは非常に難しいことです。また、写真には、様々な情報が含まれています。名前を書かなくても、風景や位置情報から個人が特定されることもあります。ふざけて載せた写真も世界中の誰が見るか、**どんな使われ方をするか、わからないし、取り返すこともできない**のです。

犯罪

面白半分が悪口や中傷を書き込みをしたとしても、犯罪です。趣味やゲームを通じてネット上で知り合った人からの誘いを受け、被害にあう事件も起きています。また、**ネット犯罪被害にあった95%の子どもがフィルタリングを利用していない**そうです。フィルタリングはとても重要です！